

◎ 聴読解問題スクリプト

Track 11

6 番 経営学の先生が、「社内プロジェクトの成功の条件」について話しています。この先生が、重要性を強調している条件はどれですか。

新しい事業を立ち上げることを「起業」と言いますが、新たに会社を作らずに、社内で、社員のアイデアによって、事業をおこすこともできます。これを、「社内プロジェクト」と呼びます。この「プロジェクト」を成功させるためには、自由なアイデアと、業績に見合った給料が支払われる仕組み、この二つが重要だという認識はどの会社にもあるようです。しかし、次の点は、見落とされがちですので、重要性を強調しておく必要があるでしょう。それは、たとえ新しい仕事に取り組んでいても、そばで元からいる上司に見られていたのでは、自分のプロジェクトに全力投球するのは難しいということです。できれば、社外に小さなオフィスを借りるなどして、自分達だけの空間が用意できればいいですね。そうすることで、自分で事業をやっていくんだという自覚も生まれるのです。

Track 13

8 番 先生が、アゲハチョウの飛び方について話しています。この先生が、最後にする質問の答えはどれですか。

この図を見てください。図1は、アゲハチョウが飛んだルートを左から右へ線で示したものです。この場所には、日なたと日かげがあり、さらに、木がある場所、草がある場所、裸地と呼ばれる何もない地面とがあります。図2はこの場所にそれぞれ何があるかを棒線で表しています。例えば、図2の左端を見ると、その場所に、日なたの木と、日かげの裸地があるということがわかります。

図2にも、アゲハチョウが飛んだところを左から右へ線で示しています。これを見ると、アゲハチョウは、日なたにある木に沿って飛んでいったことがわかります。日なたの木がなくなってしまうと、木のそばであれば日かげを飛ぶことがありましたが、それ以外では日かげを飛ぶことはありませんでした。また、何もない地面の上もほとんど飛びませんでした。日なたの裸地を飛ぶことはありましたが、おそらくそれは、たどっていた木が急になくなってしまう、地面の上に出てしまったときだと思われます。観察していると、何もない地面の上を飛ぶとき、アゲハチョウは、他の場所を飛ぶときとは違って、落ち着かない様子の飛び方をしていました。図2で、そういう飛び方をした場所を示すのはどの部分ですか。